

18. 自殺対策について（問47～問49）

問47 ここ5年以内で、身近な人（家族、友人）から「死にたい」という相談を受けたことがありますか。（n=2,356）

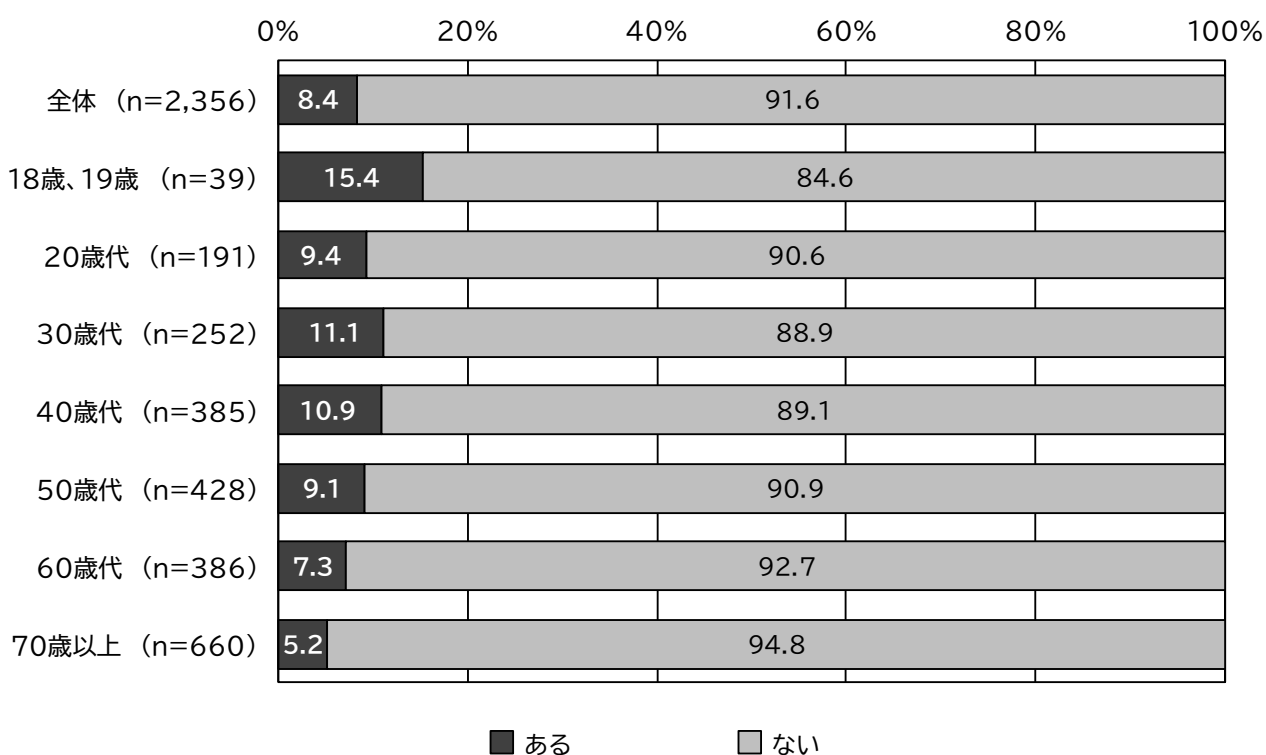
（1）全体的傾向

「ある」と回答した人の割合が8.4%、「ない」と回答した人の割合が91.6%となっている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「ない」と回答した人の割合が84.6%～94.8%と8割を超えており、年代が高くなるほど高くなる傾向となっている。

一方、18歳、19歳は、「ある」と回答した人の割合が15.4%と他の年代と比べ高くなっている。



<問47で「ある」と答えた方にお聞きします。>

問48 相談を受けたのち、あなたはどこかにもしくは誰かに相談をつなぎましたか。(複数回答：n=189)

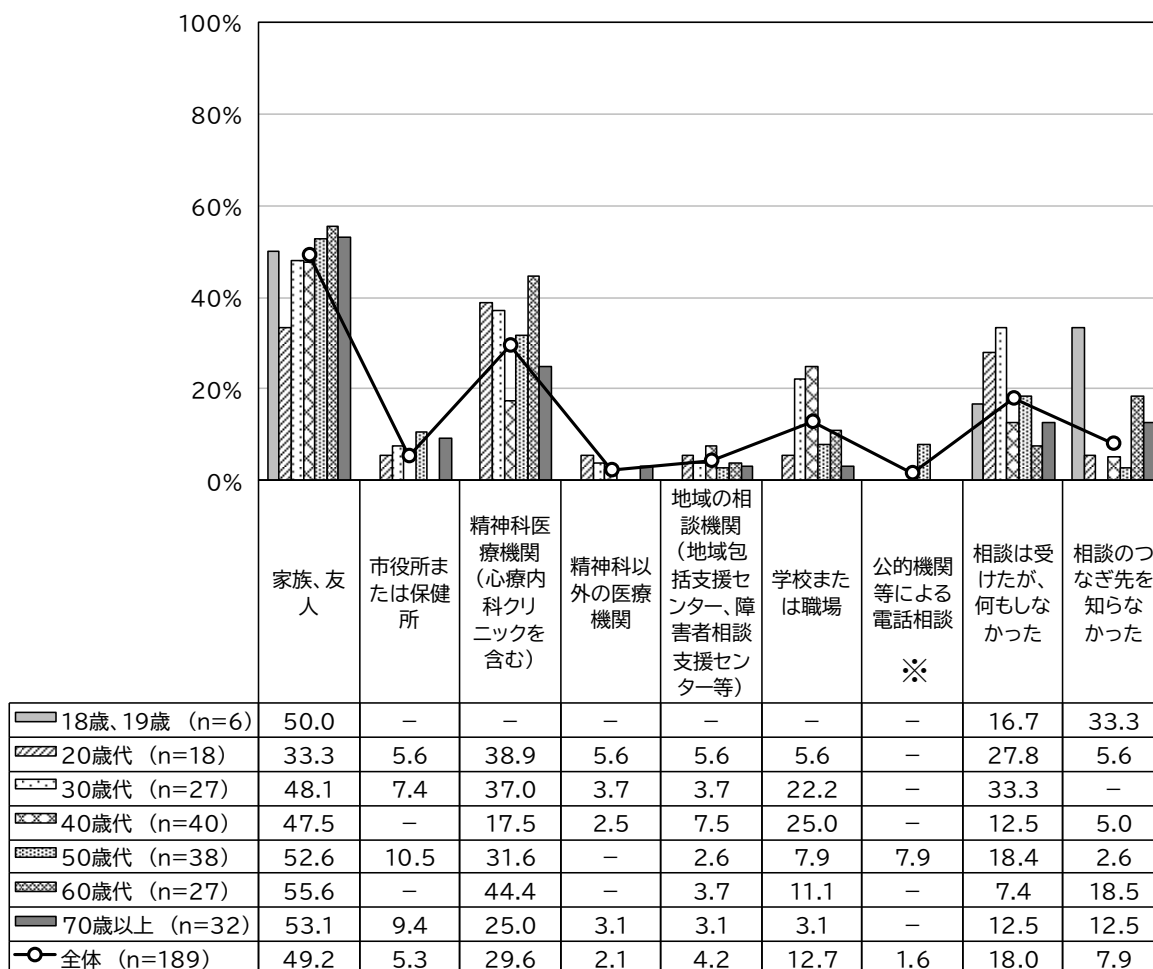
(1) 全体的傾向

「家族、友人」と回答した人の割合が49.2%と最も高く、次いで「精神科医療機関(心療内科クリニックを含む)」(29.6%)、「相談は受けたが、何もしなかった」(18.0%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

20歳代を除き、すべての年代で、「家族、友人」と回答した人の割合が47.5%～55.6%と最も高くなっている。

一方、18歳、19歳は、「相談のつなぎ先を知らなかった」と回答した人の割合が33.3%と他の年代と比べ高くなっている。



※公的機関等による電話相談

あいちこころほっとライン365、いのちの電話、チャイルドライン等

問49 自殺を予防する対策の中で特に重要だと思われる対策はどれですか。
(複数回答：n=2,288)

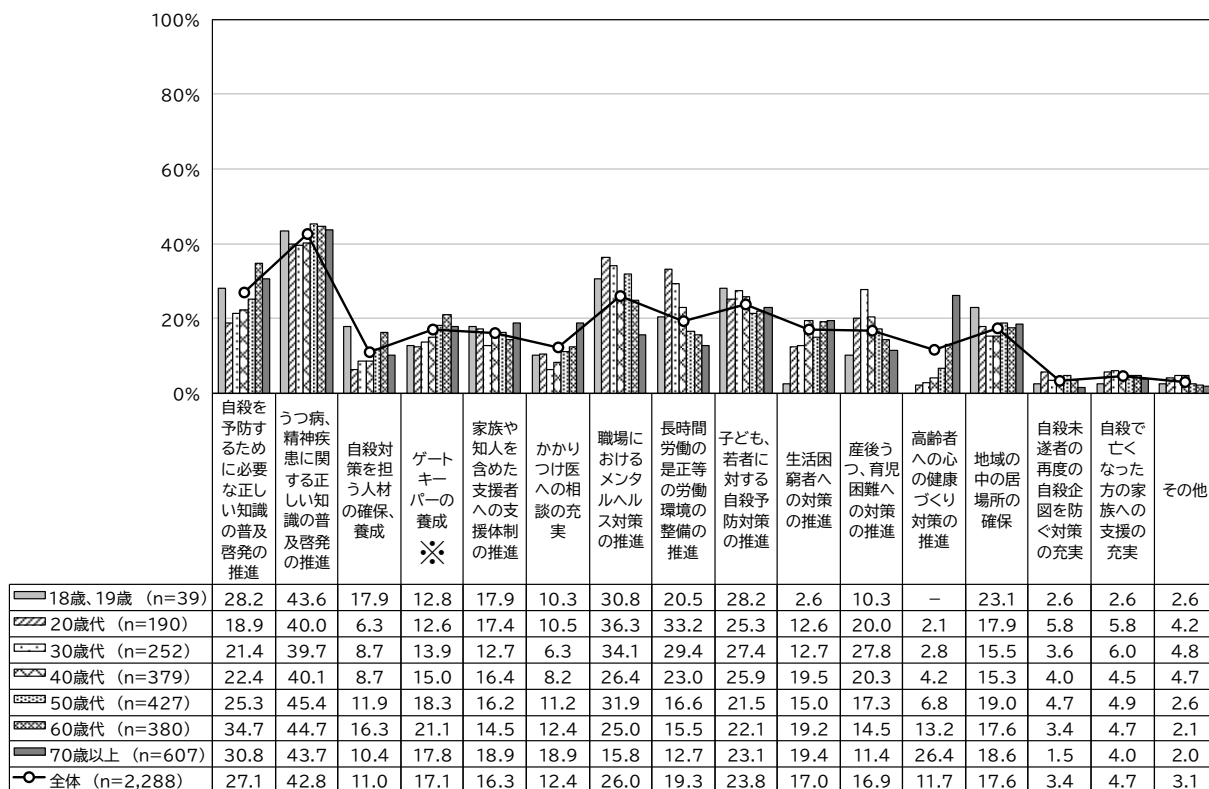
(1) 全体的傾向

「うつ病、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発の推進」と回答した人の割合が42.8%と最も高く、次いで「自殺を予防するために必要な正しい知識の普及啓発の推進」(27.1%)、「職場におけるメンタルヘルス対策の推進」(26.0%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

すべての年代で、「うつ病、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発の推進」と回答した人の割合が39.7%~45.4%と最も高くなっている。

また、30歳代では、「子ども、若者に対する自殺予防対策の推進」、「産後うつ、育児困難への対策の推進」と回答した人の割合が高くなっている。



※ゲートキーパーについて

自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門家につなぎ、見守る役割を担う人。研修等により誰でも担うことができる役割。